

### 子どもが輝く 未来のまち やわた

全国的に少子化が進む中、本市におきましても、令和3年の出生数が357人となるなど、少子化が一層進行しております。また、核家族化、地域関係の希薄化などにより、子育ての悩みなどを身近に相談できる人がおらず、不安を抱えている方からの相談が寄せられています。



このような状況から、地域で安心して子育てができるよう、妊娠・出産期のサポートとして、体外受精や先進医療などの不妊治療への助成を拡充することとしております。また、「宿泊型産後ケア」の利用施設を拡充することとしております。

- 子育て短期支援事業（ショートステイ・トワイライトステイ）（充実）50万円
- 発達障害児等早期療育支援（継続）153万円
- 児童発達支援センター事業費助成（継続）400万円
- 民間保育所・認定こども園障がい児保育事業費助成（充実）5,236万円
- 副食費減免・補給給付事業（継続）351万円
- 保育所等における使用済み紙おむつの回収（新規）420万円
- 保育士等の処遇改善（新規）2,100万円
- さくら公園等子育て支援イベント（充実）150万円
- 妊産婦・母子保健指導事業（妊婦歯科検診、新生児聴覚検査、宿泊型産後ケア、屈折検査、子はたからプロジェクト等）（充実）1,060万円
- 乳幼児発達クリニック（継続）22万円
- 産前・産後ヘルパー派遣事業（継続）37万円
- 産後ケア事業（助産師派遣）（継続）40万円
- 10カ月児健康相談（継続）55万円
- 不妊治療給付事業（充実）320万円
- 就学前発達検査の実施（新規）20万円
- G I G Aスクール構想整備事業（充実）5,170万円
- 学校保健特別対策（新規）1,665万円
- スタディサポート（鳩嶺教室）事業（充実）6,008万円
- 八幡小学校給食室整備（設計）（新規）850万円
- さくら小学校トイレ大規模改造（設計）（新規）1,100万円
- 小学校屋内運動場空調設備等整備（設計）（中央小、美濃山小）（新規）980万円
- 小学校屋内運動場空調設備等整備（工事）（くすのき小、さくら小）（新規）1億2,580万円
- みどりの校庭づくり事業（新規）1,530万円
- 男山第二中学校屋内運動場等長寿命化改良（設計）（新規）1,030万円
- 公立幼稚園教材費無償化（新規）
- みどりの園庭づくり事業（新規）100万円

### 持続可能な 安心・安全のまち やわた

環境行政につきましては、現在策定中の「第3次八幡市環境基本計画」に基づき、公共施設における再生可能エネルギーのさらなる導入に向けた調査に着手するとともに、引き続き



新庁舎整備イメージ

- 廃棄物の有効利用などの循環型社会の形成、国民運動（COOL CHOICE）の啓発など、脱炭素社会の実現に向けた取組を加速させることとしております。
- 庁舎整備事業（継続）56億2,670万円
- 第5次総合計画後期基本計画の策定（新規）1,000万円
- 電算化推進事業（BPR、リモートワーク環境等）（継続）526万円
- COOL CHOICEの推進、ゼロカーボンに向けた調査研究、ゴミ分別アプリの導入（充実）740万円
- 収集作業員就労環境改善（新規）80万円
- 地籍調査事業（継続）589万円
- 農業用施設維持補修（水戸城川・炭蔵）（新規）700万円

- GISを活用したデジタル化推進（道路台帳、都市計画情報）（新規）1,100万円
- 街路灯LED化（継続）2,500万円
- 単独道路等整備（橋りょう点検、市道改良）（継続）5,230万円
- 橋りょう長寿命化（横町橋、式部谷橋等）（継続）1,465万円
- 公営住宅管理（一丁地耐震・外壁改修等）（継続）5,614万円
- 機械器具及び消防庁舎整備（救急自動車更新、分署整備）（充実）5億1,340万円
- 防災対策費（防災アプリ運用、ドローン購入、防災ラジオ購入等）（充実）1,150万円
- 八幡市防災ハザードマップ更新（新規）420万円
- ブロック塀対策補助（継続）50万円

# 先人に感謝 まちを将来世代へ

2月28日に開会しました令和4年八幡市議会第1回定例会で、堀口市長は市政運営についての基本姿勢および取り組むべき重点施策を盛り込んだ「令和4年度施政方針」を表明し

ました。その主な内容を紹介し、また、施政方針の全文は市ホームページ（http://www.city.yawata.kyoto.jp/）に掲載しています。

## 新型コロナウイルス対策等関連事業

- 生活困窮者自立支援事業（新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金、住居確保給付金）（継続）1,900万円
- 公立保育所等環境整備（臨時）4,040万円
- 自宅療養者等支援実施事業（臨時）200万円
- 新型コロナウイルス避難施設の運営（臨時）391万円
- 新型コロナウイルスワクチン接種体制確保（臨時）1億7,000万円
- 小中学校手洗い場等非接触型水洗化（臨時）740万円

## 誰もが「健康」で「幸せ」な 健幸のまち やわた

これまで「やわた未来いきいき健康プロジェクト」など、高齢者の健康づくりに取り組んでまいりました。しかし、昨年度実施いたしました新型コロナウイルス感染症の健康二次被害に関するアンケート調査の結果からは、高齢者だけでなく40・50歳代においても、物忘れ頻度の増加や精神健康度の悪化が見られます。コロナ禍の長期化によって、その影響が大きくなること懸念されることから、高齢者へのケアに引き続き取り組むとともに、40・50歳代において運動・栄養・休養など、総合的に健康づく

- くりをサポートする取組として、「(仮称)官民連携健康づくりサポートプログラム」を開始することとしております。
- 高齢者保健事業・介護予防等一体的実施事業（継続）793万円
- 介護保険事業計画等の策定（新規）614万円
- 地域密着型サービス等整備等助成（新規）1億4,285万円
- やわた未来いきいき健康プロジェクト（充実）4,950万円
- やわたヘルスプロモーション推進（「健康アンバサダー」養成）（継続）80万円
- 健康コミュニティ推進（生活総合機能改善）（継続）100万円
- 子宮頸がん予防接種の積極的勧奨（充実）1億1,270万円
- 健康教育費（健康教室・セミナー開催）（継続）15万円
- 後期高齢者歯科検診（オーラルフレイル予防）（継続）83万円
- スポーツカーニバルの開催（継続）200万円



## 市制施行45周年記念事業

- 八幡市は本年11月1日に市制施行45周年を迎えます。文化センターにて開催を予定しております記念式典をはじめ、多くの関連行事を実施することとしております。
- 市制施行45周年記念事業（記念式典、有功者表彰、生活情報センター寄席、デザインマンホール製作等）（新規）2,690万円

- 鎌倉時代歴史文化再発見事業（新規）300万円
- 松花堂美術館開館20周年記念春季企画展・特別展の開催（新規）60万円
- 第50回八幡市民文化祭の開催（充実）700万円
- (仮称)松花堂昭東イラストコンテストの開催（新規）1,000万円

## ともに支え合う 共生のまち やわた

少子化による人口減少、超高齢社会の到来に加え、新型コロナウイルス感染症禍の長期化は、地域コミュニティの希薄化に拍車をかけております。誰一人取り残さない社会を築いていくために、誰もが互いを尊重し、支え合い、自分らしく活躍できる社会、誰もが暮らしやすいまちづくりの実現を目指し、引き続き取組を進めてまいります。

- 外国人が暮らしやすい地域社会づくり（充実）25万円
- コミュニティ事業推進（継続）3,574万円

- 男山地域再生事業（継続）510万円
- 市民協働活動センター運営（継続）240万円
- 市民協働活動事業助成（継続）90万円
- やわた男女共同参画一ふフェスティバル開催（継続）40万円
- 地域福祉推進計画の策定（継続）550万円
- 絆ネットワーク構築支援（継続）365万円
- 手話奉仕員養成研修事業（継続）233万円
- 地域生活支援拠点事業（継続）2,225万円
- ヤングケアラー支援事業（新規）50万円
- ふれあい訪問収集（継続）276万円
- 救急安心センター事業（継続）97万円
- 学力向上推進事業（日本語支援員、母語通訳者派遣）（継続）60万円
- 生涯学習推進費（各種講座の開催等）（継続）742万円



日本経済団体連合会（経団連）の「やわた未来いきいき健康プロジェクト」の推進を支援する（令和3年8月10月実施）

## 自然と歴史と文化が織りなす 観幸のまち やわた

「徒然草エッセイ大賞」につきましては、本市の歴史の発信とA I時代の日本語を考える一助とすることを旨とするともに、「文化芸術都市 八幡市」を推進・発信するため、令和4年度も引き続き取り組むこととしております。

アフターコロナにおける観光誘客につきましては、文化観光の推進に向け、石清水八幡宮と門前町の魅力向上を目指し、「歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略」の策定に取り組むこととしております。また、八幡の四季の魅力を織り込ん

- だ観光PR動画を制作し、松花堂美術館などにおいて活用することとしております。
- 八幡産てん茶普及啓発（充実）115万円
- お茶の京都普及啓発（DMO分担金）（継続）657万円
- 茶業振興対策（浜茶景観維持）（継続）19万円
- 観光振興費（秋の文化財一斉公開、公衆無線LAN、トイレ設置）（充実）208万円
- 歴史的資源を活用した文化観光まちづくり未来戦略の策定（新規）400万円
- 観光PR動画の制作（新規）400万円
- 京都やましろ地域と東京しぶや連携交流事業（継続）118万円
- 手土井線道路整備（広場）（継続）5,550万円
- 徒然草文学賞表彰（継続）1,120万円
- 名勝松花堂及び書院庭園保存活用整備（継続）6,056万円
- 文化センタートイレ衛生環境改善（工事）（充実）1億5,480万円
- 松花堂美術館等空調設備整備（設計）（新規）1,300万円



第五回徒然草エッセイ大賞授賞式

## 「市民との協働」軸に 八幡市長 堀口文昭

令和2年2月に3期目の市政運営をスタートさせていたとき、3年目の春を迎えようとしていた。経済の縮小、人々の意識や価値観などにも大きな影響を及ぼしているように思えます。市長に就任させていた10年、「市民との協働」を軸として様々な取組を進めてまいりましたが、コロナ禍では複雑な様相を呈し、新しい生活

様式の中での「市民との協働」を模索することが必要だと実感いたしました。近年、気候変動が原因と考えられる激甚な豪雨、台風などの災害が多発しております。令和4年中に、防災拠点としての機能を備えた新庁舎が完成する予定であり、市民に親しまれる開かれた庁



舎として、また、「市民との協働」の拠点として、市の新たな成長につなげてまいりたいと考えております。本市は本年11月に市制施行45周年を迎えます。先人の方々の感謝と敬意を込めて記念事業を開催するとともに、持続可能な開発目標である「SDGs」の理念を取り入れながらこのまちを将来世代に引き継いでいかなければなりません。このような状況を踏まえながら、本市も「ウィズコロナ」「アフターコロナ」の経済・社会におけるニューノーマル（新しい常態）の中核といわれるデジタル化（DX）を推進してまいります。あわせて、新型コロナウイルス感染症禍からの経済復興においては、国と歩調を合わせ、再生可能エネルギーへの転換をはじめ、グリーン

トランスフォーメーション（GX）の推進など脱炭素社会の実現への視点を重視し、2050年CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）実質排出ゼロを目指し取り組んでまいります。